

イエスが教えたこと ～神は薄情か～

2014/6/1

合同礼拝

よく質問されること

- 「神様がいるなら、どうして災害や病気や戦争や飢えがあるのか？」
 - 人間が苦しんでいるのにどうして何もしないのか？
 - 神様はひどいじゃないか！
- 人間が苦しんでいる姿を見て、神様はどう思っているのだろうか？
 - いいきみ。自業自得。身から出たさび……
 - 無関心。何とも思っていない。
 - とっても悲しんでいる

旧約聖書の時代に教えられたこと

- 「律法を守れば祝福,やぶれば呪い」
 - ユダヤ人は,幸福と不幸で神様がいることと,神様は人間が幸せでいることを願っていることを知った
- 苦しい時に祈ると助けてくれた
 - 神様に背いていても,苦しんでいる時に祈ると神様は苦しみから救い出された
- 預言者によって神様の気持ちを伝えられた
 - 「たとえ、女たちが忘れようとも／わたしがあなたを忘れることは決してない。」イザヤ書49:15

イエス様は何をしたか

- 神様は人(イエス様)となってこの世界に来られた
 - 人間に直接自分の思いを伝えるために
- 病気や障害を治された
 - 「足の不自由な人、目の見えない人、体の不自由な人、口の利けない人、その他多くの病人を連れて来て、イエスの足もとに横たえたので、イエスはこれらの人々をいやされた。」マタイ15:30
- 死人を生き返らせた
 - 「イエスは、『若者よ、あなたに言う。起きなさい』と言われた。すると、死人は起き上がってものを言い始めた。イエスは息子をその母親にお返しになった。』ルカ7:14-15

イエス様は何をしたか

- 空腹の人たちをお腹いっぱいにした
 - 5つのパンと2匹の魚の奇跡
- 罪人と呼ばれていた人たちと仲良くした
 - 「ファリサイ派の人々やその派の律法学者たちはつぶやいて、イエスの弟子たちに言った。『なぜ、あなたたちは、徴税人や罪人などと一緒に飲んだり食べたりするのか。』」ルカ5:30
- 「神の国」について教えられた
 - 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」マタイ6:33

イエス様はなぜそんなことをしたか

- イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て深く憐れみ、その中の病人をいやされた。マタイ14:14
- イエスは涙を流された。ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。
ヨハネ11:35-36
- イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。「群衆がかわいそうだ。もう三日もわたしと一緒にいるのに、食べ物がない。空腹のまま解散させたくはない。途中で疲れきってしまうかもしれない。」マタイ15:32
- イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた。マルコ 6:34

イエス様はなぜそんなことをしたか

神様は私たちが苦しんでいるのを見て、深く憐れんで
おられる

子どもの苦しみを見ている
親のような気持ちで

始められた。マルコ 6:34

助けられた人々はどうなったか？

- お腹いっぱいになった人は？
 - 次の日にはまたお腹がすいた
- 病人は？
 - また病気になった
- 生き返った人は？
 - 結局死んだ
- 最後はみんなイエス様を裏切った
 - ピラトは、「いったいどんな悪事を働いたというのか」と言ったが、群衆はますます激しく、「十字架につけろ」と叫び続けた。マタイ27:23

でもそれがイエス様のねらいだった

- 人間の弱さや罪深さを背負って死ぬこと
 - 人間を苦しめている最大の原因
- 罪の身代わりとなって死に、人間に永遠の命を与えること
 - 罪の苦しみが永遠に続かないように
- 喜んで死ねるほど大切に思っていることを教えること
 - 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。ヨハネ15:13

イエス様が教えたこと

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネ福音書3:16

- 神様は人間が苦しんでいる姿を見て心を痛めておられる
- 神様は私たち一人一人のことをこの上なく大切に思っておられる
- 神様は私たちが永遠に幸せであるように願っておられる